

図書館閉館と、それにもなう予約停止・返却のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、下記期間について、図書館（本館・帷子分館・桜ヶ丘分館）を閉館とします。移動図書館ひまわり号の巡回も中止します。
また、インターネットからの予約の受付を停止します。
ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

【期間】 令和2年3月28日（土）～5月6日（水）

※今後の状況次第では、延長になる場合もあります。
※現在貸出中の本で、この期間に返却期限を迎える本については、5月28日（木）まで期限を延長します。
※返却ポストは通常どおり利用できます。

職員のおすすめ《この書き手に注目！》

ジュンパ・ラヒリ

(1967年ロンドン生まれ)

両親ともカルカッタ出身のベンガル人。幼少時に渡米し、アメリカのロードアイランド州で成長する。99年「病気の通訳」でO・ヘンリー賞受賞。同作収録のデビュー短篇集『停電の夜に』（新潮社）でPEN/ヘミングウェイ賞、ピューリツァー賞を受賞。

今回ご紹介するのは、短篇集『停電の夜に』（新潮社）収録の、「病気の通訳」です。

舞台は、灼熱のインド。ある日、タクシー運転手カパーシーは、アメリカから来た家族連れに観光案内をする。若い奥さんは、カパーシーと車内で二人きりになった時、なぜか初対面のカパーシーに、これまで誰にも話せなかった家族の重い「秘密」を打ち明ける。

タクシー運転手であるカパーシーのもう一つの仕事は、病院での患者の通訳。ただ、この作品に通訳の場面は全く登場しません。なぜタイトルは『病気の通訳』なのでしょう？

奥さんが、病んでいるといえるほどの苦しい胸の内を、カパーシーに通訳してほしかった、とも解釈できます。

ラヒリの作品では、ドラマチックな出来事は起こりません。登場人物たちの日常がただ淡々と描かれます。しかし、人物の服装、爪、肌の色や質感までも緻密に描くことにより、まるで映画のように、情景がありありと目に浮かんできます。（桜ヶ丘分館 堀）

ユベール・マンガレリ

(1956～2020年 フランス生まれ)

17歳より3年間海軍に在籍。さまざまな職を転々とし、児童文学作家として活躍した後、本格的な中・長篇小説の執筆を開始。『四人の兵士』（白水社）で2003年度メディシス賞受賞。2020年1月没。

ユベール・マンガレリの『おわりの雪』（白水社）をご紹介します。

「トビを買いたいと思ったのは、雪がたくさんふった年のことだ」と始まるこの物語は、ほの暗い部屋で病床の父親にトビ(鳥)の話をしていたころの記憶の回想です。

「ぼく」は店先で見つけたトビを手に入れるために、つらい仕事を引き受けます。心がちりちり痛む「ぼく」に、つらさの先の孤独を父は言葉少なに語ります。夜中にそっと出かける母の自動消灯スイッチの音。手に入れたトビが立てるかすかな音。語られない胸の奥に秘められたものに、気づいても気づかないふりをする。窓の向こうに降りしきる雪を見ていた「ぼく」は、ふいに恐怖とかなしみを感ずります。それは、彼の少年時代の終わりを知らせる予感だったのでしょうか。

淡々とつつられた父と子の情景、移りゆく季節の繊細な描写が、ゆっくりと胸に沈み入り、一枚の絵画を観たような静けさを残す静謐で美しい作品です。

(本館 林)

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
歴史・伝記・地理			
210.4/コ/	日本中世への招待 山伏や陰陽師などにより祈禱が捧げられた出産、口を開けて舌を出したり、唾を飛ばすことを戒める武家の家訓、死傷者まで出た子どもの日の石合戦…。戦ばかりではない、知られざる中世日本人の姿に迫る。	呉座勇一／著	朝日新聞出版
288.3/キ/	斎藤氏四代 僧侶から土岐氏重臣に上り詰めた長井新左衛門尉。下剋上により美濃国主となった斎藤道三。父親を倒して国威を増した義龍。織田信長の攻勢により敗れた龍興。稲葉山城を舞台に勃興し没落していった四代の軌跡を描く。	木下聡／著	ミネルヴァ書房
289.1/ア/	明智光秀と織田信長 明智光秀の誕生、比叡山焼き討ち、本能寺の変、山崎の戦い…。歴史的事実をベースに、多くの歴史学者たちが立てた仮説もまじえて、光秀の生涯をポイントがわかるよう、豊富なビジュアルとともに紹介する。		双葉社
291.0/ニ/	西日本「御城印」徹底ガイド 新しいお城めぐりの楽しみ方の一つとして、全国のお城で発行・販売されている御城印。西日本の御城印について解説するとともに、各お城の歴史や見どころ、観光をするときに役立つ情報を掲載する。	小和田哲男／監修	メイテュユニバーサルコンテンツ
社会			
312.1/オ/	田中角栄最後の激闘 閣將軍として君臨する田中角栄に若輩の竹下登が謀反。恫喝と裏切り、権謀術数、駆け引きと暗闘…。金丸信と組んで立ち向かい、ついには権力を奪った竹下登。歴史に残る超弩級の権力闘争の真相を明らかにする。	大下英治／著	さくら舎
332/ア/1	自由の命運 上・下 自由の命運を握る「狭い回廊」とは？ 内戦下のシリアから古代ギリシア、建国期のアメリカ合衆国、現代中国まで、古今東西の豊富な歴史研究をもとに、ますます貴重になりつつある自由を保つための国家と社会の力関係を論じる。	ダロン・アセモグル／著	早川書房
367.6/フ/	結愛へ 目黒区虐待死事件 母の獄中手記 結愛ちゃんは今もうおねがいゆるしてくださいと悲痛な叫びを遺し、わずか5年で人生の幕を閉じた。娘を衰弱死させた罪に問われ、実刑判決を下された母親の獄中手記。ルポライター・杉山春の解説、精神科医の意見書も収録。	船戸優里／[著]	小学館
376.1/ホ/	保育者のための外国人保護者支援の本 保育園・幼稚園・認定こども園の保育者に向けて、外国人保護者支援の考え方とノウハウを、諸外国や日本の現状を踏まえながらわかりやすく解説する。コミュニケーションのためのリソースなども収録。	咲間まり子／監修	かがわ出版
自然科学・医学			
455.1/コ/	日本の山ができるまで 様々な年代の地質からなり、地質が異なると山容も植生も変わる日本の山。大陸から分離した後、日本列島では隆起が始まり、火山活動も盛んになった。五億年の歴史を繙き、日本の山の地質・地形と自然ができるまでを俯瞰する。	小泉武栄／著	エイアンドエフ
491.3/ナ/	空気を読む脳 なぜ、相手や周りの気持ちがわかりすぎる人ほど生きづらいの？ 日本の心性について、脳科学を中心とした科学的なエビデンスをもとに論じる。日本人の脳の「強み」を知る、不自由さを突き抜けるための処方箋。	中野信子／[著]	講談社
493.1/ア/	飲んでる薬、多すぎませんか？ 怖い副作用を起こす薬の飲みすぎ。どうしたら上手に薬を減らすことができるのか。高血圧、うつ病、風邪といった症状別に薬の効果と副作用を解説するほか、効果的な飲み方や薬の減らし方を伝える。Q&Aも収録。	秋下雅弘／著	アートデイズ
技術・家政			
523.1/ニ/	日本の建築家解剖図鑑 天皇に迎賓館を酷評され、落ち込みすぎて体調を崩した片山東熊、実は建築家になりたくなかった曾禰達蔵…。日本建築の歴史を築いた63人を取りあげ、代表的な作品を、イラストを用いて図解した近現代日本建築の入門書。	二村悟／著	エクスナレッジ

596.2/パ/	スーパーの食材で作るアジア7カ国の本格カレー	ヘーマ・パレック/著	マイナビ出版
	インドのカリフラワーサンバル、ネパールのキノコのカレー、スリランカのピーツのカレー…。日本在住のインド人・国賓料理人が、スーパーで手に入る食材を使ってアジア7カ国の家庭/専門店のスパイスカレーを再現する。		
産業			
620/オ/	みんなの園芸店	大野八生/[著]	福音館書店
	夜に咲く花を楽しんだり、鉢植えで果樹を育ててみたり、窓辺で植物を育ててみたり…。春夏秋冬四季折々、植物の育て方といろいろな楽しみ方を、イラストと文で紹介した園芸の入門書。庭づくりを楽しむヒントが満載。		
645.6/ブ/	モリー、100匹の猫を見つけた保護犬	コリン・ブッチャー/著	東京創元社
	行方不明の猫を探すのは犬!? 相棒を探していたペット探偵の著者が、問題行動ばかりの保護犬モリーと出会う。だがモリーには類い稀な才能があって…。現在も活躍中の探偵犬を描いたノンフィクション。		
芸術、スポーツ			
702.8/パ/	アーティストの手紙	マイケル・バード/著	マール社
	カミーユを口説くロダン、仲介人に支払いの督促をするレンブラント…。この500年の間に交わされたアーティストたちの手紙を集録。芸術家の体温が伝わってくる即興のスケッチやドローイングも多数。作家についての解説付き。		
783.7//	リーダーとして覚えておいてほしいこと	野村克也/著	PHP 研究所
	「戦略・戦術の実行」「データの活用」だけでは、強いチームはつくりえない。名将・野村克也が、忘れ難いエピソードとともに、リーダーの心得と思想、人の育て方・活かし方、組織と戦略の神髄を綴る。		
789.8/ニ/	忍者学講義	山田雄司/編	中央公論新社
	忍者食、狼煙、動きの秘密…。日本史から食品科学まで、三重大学のさまざまな分野の研究者が、科学的知見をもとに忍者・忍術を大真面目に考える!		
日本文学—評論			
910.2/ミ/	綴る女 評伝・宮尾登美子	林真理子/著	中央公論新社
	「鬼龍院花子の生涯」「天璋院篤姫」…私たちが夢中にさせた「宮尾ワールド」は本当に存在したのか。昭和と平成を駆け抜けた国民的作家・宮尾登美子の横顔と、作品の秘密に迫る評伝。		
日本文学—小説			
913.6/アサ/	流人道中記 上・下	浅田次郎/著	中央公論新社
	姦通の罪で奉行所に切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃。ろくでなしでありながら、道中で行き会う弱き者を決して見捨てぬ心意気があり…。		
913.6/イト/	茶聖	伊東潤/著	幻冬舎
	茶の湯という一大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近くに仕えた千利休。利休は何を目指し、何を企んでいたのか。その謎めいた心根と切腹の真相に迫る歴史大河ロマン。		
913.6/オノ/	今日も町の隅で	小野寺史宜/著	KADOKAWA
	バンドでリードギターを降格された悠太が初デートで訪れたのは、“ツリー”ではなく“タワー”だった…。「逆にタワー」ほか、それぞれの「選択」をする男女を描いた10編を収録。		
913.6/オン/	ドミノ in 上海	恩田陸/著	KADOKAWA
	上海のホテル「青龍飯店」で、25人(と3匹)の思惑が重なり合う。もつれ合う人々、見知らぬ者同士がすれ違うその一瞬、運命のドミノが次々と倒れてゆく。圧巻のエンタテインメント。		
913.6/カト/	東京、はじまる	門井慶喜/著	文藝春秋
	江戸を壊し“東京”を建てねば、この国はほろびる。江戸から東京へ、急速に近代化する街の形を決定づけた建築家・辰野金吾。今日につながる景色を創った男の野心と葛藤を描く。		
913.6/クロ/	アパレル興亡	黒木亮/著	岩波書店
	高度経済成長の栄光を謳歌したアパレル産業は、なぜその輝きを失ったのか? 焼け跡からの勃興、群雄割拠の戦国時代からユニクロまで、日本経済の栄枯盛衰と共にアパレル業界を描く。		

913.6/サイ/	わかれ縁 最低亭主から逃げた絵乃は、離縁の調停を得意とする公事宿「狸穴屋」の手代として働くことに。一筋縄ではいかない依頼を解決しながら、念願の離縁を果たすことができるのか!?	西條奈加/著	文藝春秋
913.6/シゲ/	ひこばえ 上・下 洋一郎が2年生の時に家を出て行った父親。郊外の街で一人暮らしを続けた末に亡くなった父親は、生前に1冊の「自分史」をのこそうとしていた。洋一郎は父親の人生に向き合うことを決意するが…。	重松清/著	朝日新聞出版
913.6/シン/	絶対聖域 児童養護施設で育った優斗、詩音、果林は、深い絆で結ばれていた。3人が中学卒業を控えたある日、施設に宗教団体「神闘会」の香坂という男が現れ、詩音はその団体の会長の孫であるとわかり…。	新堂冬樹/著	講談社
913.6/セナ/	ポロック生命体 シンギュラリティに備えよ! 最新の科学的知見をもとに、明日にでも訪れるであろう人類とAIの姿をリアルに描き出した作品集。『週刊新潮』に連載した表題作ほか、全4編を収録する。	瀬名秀明/著	新潮社
913.6/ナカ/	帝都地下迷宮 鉄道マニアの小日向は、ある日、廃駅となっている地下鉄銀座線萬世橋駅へと潜り込む。そこには政府の「ある事情」により地下空間で暮らす謎の集団が。さらに殺人事件が起こり…。	中山七里/著	PHP 研究所
913.6/マヤ/	神域 上・下 脳細胞を蘇らせる人工万能幹細胞が誕生。日本政府は一刻も早い実用化を迫る。しかし、本当に再生細胞は安全なのだろうか…。バイオ・ビジネスの光と闇を描く医療サスペンス。	真山仁/著	毎日新聞出版
913.6/ムラ/	丸の内魔法少女ミラクリーナ 36歳のOL・茅ヶ崎リナは、「魔法少女ミラクリーナ」に“変身”し、日々を乗り切っている。だが、親友の恋人と魔法少女ごっこをするはめになり…。リアル社会の欺瞞をえぐり出す短編集。	村田沙耶香/著	KADOKAWA

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

※予定※ ■ 5 / 7 (木) ~ 5 / 28 (木) ■

こどもの読書週間特集 オリンピック展

オリンピックの由来や意義から、歴史・各競技まで紹介します。
児童書を中心に展示します。



貸出カードはお持ちですか

可児市内に住んでいる人、可児市へ通勤・通学している人は、どなたでも無料で貸出カードを登録できます。
多治見市、美濃加茂市、御嵩町、加茂郡、土岐市、犬山市に住む人も登録できます。
貸出カードを登録する時は、住所を確認できるもの(免許証、健康保険証等)をお持ちください。
お一人10冊まで、3週間借りることができます。

【貸出カードの登録内容の確認について】

図書館の貸出カードの有効期限は3年です。
有効期限が近づいた方にはカウンターでお声かけし、住所・電話番号等の確認を行います。
登録内容の確認のため、住所の証明できるものをご提示ください。ご本人がご来館ください。
高校生以下の方は、保護者の方の証明でも可能です。

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、
土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

臨時休館：3月28日(土)~5月6日(水)
通常休館日：毎週月曜日、毎月最終金曜日

スマート
フォン用
サイト



「図書館だより」2020年4月号

発行：可児市立図書館 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。